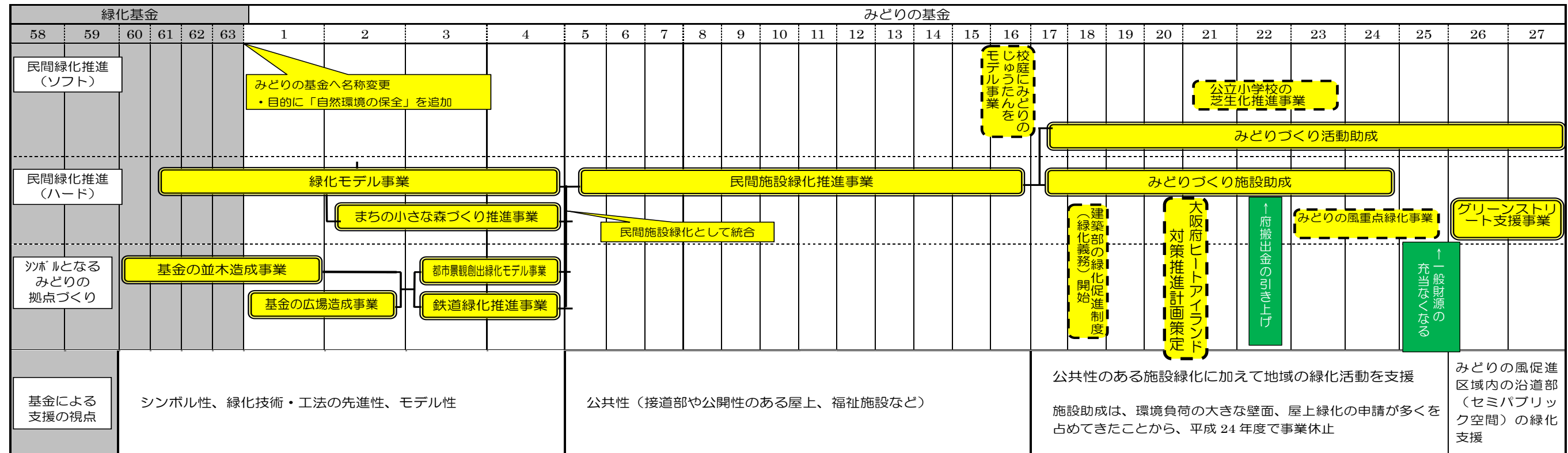


大阪府みどりの基金の活用について(都市緑化に関わる基金事業の変遷と分析)



は、みどりの基金以外の緑化関連施策

《参考》寄付額・基金運用益・基金事業費の推移

(単位：千円)

年度	基金残高	寄付額	運用益	基金事業費		備考
				予算	決算	
21	8,692,884					
22	407,497	13,069	1,799	8,301,138	8,300,255	大阪府拠出金引上げ83億円を含む
23	410,773	6,449	647	5,199	3,821	
24	426,314	18,739	489	5,815	3,687	
25	427,559	11,131	375	25,655	10,261	
26	424,030	9,810	443	26,620	13,783	
27	400,161	22,000	198	46,273	46,273	

基金活用検討の経過

○基金の活用については、平成22年8月6日及び11月4日の2回にわたり、『大阪府みどりの基金委員会（当時）』において議論し、委員会意見として取りまとめられた。

- ▶ 基金活用に当たっては、設置目的である緑化の推進及び良好な自然環境の保全を図る
- ▶ 基金を取り崩すに当たっては、これまでの寄附者の意向を踏まえて成果を示すとともに将来の寄附のきっかけとなるように努める。（5年後を目処に2億円程度の残高を確保する。）
- ▶ 基金事業については、5年間を目処に次の事業を継続的に実施する。5年後には事業の評価・検証を行い、基金の有効な活用について、再度検討・見直しを行う。

- ・シンボルとなるみどりの拠点づくり
- ・民間の行う緑化活動への支援
- ・自然環境の保全・再生

〔基金運用状況〕

- ・H22より府拠出金（83億円）を全額引き上げ。運用益減少分には一般財源を充当して事業実施。
- ・H25より一般財源の充当がなくなり民間からの寄附金と運用益のみで事業実施。
- ・H25年度末時点の基金残高は約4億2千万円、近年は毎年約1千万円程度の寄附をいただいている。
- ・H22以降、基金取崩し額より寄附額が上回っており、残高は毎年100～300万円の幅で増加。